

日本の水産物の安全・安心のために

日本産の水産物は、徹底的な安全確保対策の下で提供されています。

- ◆ ALPS処理水の海洋放出は、原子力分野についての国際的な専門機関であるIAEAの第三者的な検証を受けて行われています。
- ◆ 日本政府は、海洋、水産物のモニタリングを継続的に行い、結果を公表しています。海洋放出による環境への影響は考えられません。

IAEAは2023年7月に検証結果を公表し、「ALPS処理水の海洋放出は、国際安全基準に合致し、人及び環境に対する放射線影響は無視できるほどである」と結論づけています。

また、IAEAは、放出前のレビューだけでなく、放出中・放出後についても長年にわたってALPS処理水の海洋放出の安全性確保に関与し続けると述べています。

【IAEA報告書はこちら】



ALPS処理水の放出による水産物への影響を調べるため、水産庁は、福島県及び近隣県において、水産物のサンプリング調査をし、翌々日までに分析結果を公表しています。

【水産物の迅速分析結果はこちら(水産庁)】



(日本語)



(English)

ALPS処理水や放出地点周辺の海水を継続的に分析し結果を公表しています。

【ALPS処理水の分析結果はこちら(経済産業省)】



(日本語)



(English)

【放出地点周辺の海水の分析結果はこちら(環境省)】



(日本語)



(English)

【ALPS処理水についての説明資料はこちら】

